参考様式

**解体等工事に係る石綿使用の有無に関する事前調査説明書面**

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　年　　月　　日

発注者　　住所

氏名（法人にあっては名称及びその代表者の氏名）

様

住所

氏名

（法人にあっては、名称及びその代表者の氏名）

電話番号

受注者

大気汚染防止法第18条の15第１項に基づき、解体等工事に係る石綿使用の有無に関する事前調査結果について

下記のとおり説明します。

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 解体等工事の場所 | | （解体等工事の名称） | | | | |
| 解体・改造・補修着手年月日 | | 年　　月　　日 | | 延床面積 | m2 | |
| 解体等工事の種類（概要） | | □解体 □ 改造 □ 補修 | | 階　数 | 階建 | |
| 建築物の竣工年 | | 昭和・平成・令和　　　　　年 | | | | |
| 建築物等の概要 | | □ 建築物（以下①及び②の該当項目にチェック）  ①　□耐火　　□準耐火　　　□その他  　　②　□木造　　□鉄骨鉄筋コンクリート造　　□鉄筋コンクリート造  □鉄骨造 □コンクリートブロック造　　□その他（　　　　　　）  □ その他工作物 | | | | |
| 事前調査を行った者及び当該者が登録  規定に基づく講習を受講した講習実施  機関の名称 | | 氏名 | | | | |
| 講習機関の名称  （　□一般　□特定　□一戸建て　□その他（　　　　　　　　　　　）） | | | | |
| 調査を終了した年月日 | | 年月　　　日 | | | | |
| 調査の方法 | | □ 書面（設計図書）　□ 目視 　□ 分析　 □ その他（　　　　 　　　　） | | | | |
| 分析調査機関の名称（分析している場合） | |  | | | | |
| 調査の結果 | 石綿含有建築材料の使用の有無 | □ 石綿有　□　石綿みなし　□ 石綿無 | | | | |
| 石綿含有建築材料の  種類及び使用面積 | １　吹付け石綿　　　　（　　　　㎡） ２　石綿含有保温材 （　　　　㎡）  ３　石綿含有耐火被覆材（　　　　㎡） ４ 石綿含有断熱材 （　　　　㎡）  ５　石綿含有仕上塗材　（　　　　㎡） ６　石綿含有成形板 （　　　　㎡） | | | | |
| 建築物等の階、部屋及び部位ごとの石綿含有建築材料の使用の有無 | 別紙２のとおり | | | | |
| 事前調査結果の掲示（設置予定日及び場所） | | 別紙１のとおり | | | | |
| 届出の要否 | | ・大気汚染防止法第18条の17第１項（第２項）による届出　　□ 要　□ 不要  ・労働安全衛生法第88条第3項による計画の届出　　　　　　 □ 要　□ 不要  ・石綿障害予防規則第5条第1項の規定による作業実施の届出　□ 要　□ 不要 | | | | |
| 特定粉じん排出等作業（石綿排出等作業）の概要 | | 別紙１のとおり | 届　出　期　限  （着手日の14日前） | | | 令和　　年　　月　　日 |

備考　 １ 　この用紙の大きさは、日本産業規格A４とすること。

この書面の説明を受けました。

発注者氏名（法人にあっては名称及び説明を受けた者の職及び氏名）

**年　　月　　日**

別紙1

**特定粉じん排出等作業**

**の概要**

**石綿排出等作業**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 特定粉じん排出等作業（石綿排出等作業）の種類 | | 大気汚染防止法 施行規則 別表７ | |
| □ (1) | 建築物の解体作業のうち、吹付け石綿及び石綿含有断熱材等  を除去する作業（(2)及び(5)を除く） |
| □ (2) | 建築物の解体作業のうち、石綿含有断熱材等を掻き落とし、  切断し、又は破砕以外の方法で除去するもの（（5）を除く） |
| □ (3) | 建築物の解体等作業のうち、石綿含有仕上塗材を除去する  作業（（5）を除く） |
| □ (4) | 建築物の解体等作業のうち、石綿含有成形板等を除去する作  業（(1)及び(3)並びに(5)を除く） |
| □ (5) | 特定建築材料の事前除去が著しく困難な解体作業 |
| □ (6) | 建築物の改造又は補修作業のうち、届出対象の特定建築材料  に係る作業 |
| 特定粉じん排出等作業（石綿排出等作業）の  実施の期間 | | (自) 　 年 　 月　 日  （至）　　　年　 月 　 日 | |
| 特定粉じん排出等作業（石綿排出等作業）の対象となる建築物等の部分における特定建築材料の種類並びにその使用箇所及び使用面積 | | １　吹付け石綿　　　　　（　　　　　 　　 ㎡）  ２　石綿含有保温材 　 　（　　　　　　　　㎡）  ３　石綿含有耐火被覆材　（　　 　　　　㎡）  ４ 石綿含有断熱材 　 　（　　　　　　　　㎡）  ５　石綿含有仕上塗材　　（　　　　　　　　㎡）  ６　石綿含有成形板 　 　（　　　 　　　　㎡）  詳細は別紙２のとおり | |
| 特定粉じん排出等作業（石綿排出等作業）の方法 | | □ 除去　□ 囲い込み　□ 封じ込め　□ その他（　　　　　　　） | |
| 特定粉じん排出等作業（石綿排出等作業）の方法が法18条の19に定める方法により行うものでないときは、その理由 | |  | |
| 特定粉じん排出等作業（石綿排出等作業）の対象となる建築物等の配置図及び付近の状況 | | 別添資料　のとおり | |
| 特定粉じん排出等作業（石綿排出等作業）の工程を明示した特定工事の工程の概要 | | 別添資料　のとおり | |
| 掲示板 | 設置予定年月日 | 年 月 日 | |
| 設置場所 | 別添資料　のとおり | |
| 特定工事（特定排出等工事）を施工する者の現場責任者の氏名及び連絡場所 | | 電話番号 | |
| 下請負人が特定粉じん排出等作業（石綿排出等作業）を実施する場合の当該下請負人の現場責任者の氏名及び連絡場所 | | 電話番号 | |

備考　 １ この用紙の大きさは、日本産業規格A４とすること。

２ 解体等工事が特定粉じん排出等作業（石綿排出等作業）に該当する場合に作成すること。

３　特定粉じん排出等作業（石綿排出等作業）の対象となる建築物等の配置図、付近の状況、特定粉じん排出等作業（石綿排出等作業）工程を明示した特定工事（特定排出等工事）の工程の概要については、計画している作業方法等がわかるものを添付すること（作業工程を示す日程表、図面等）。

別紙２

**事前調査結果の詳細**

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 調査年月日 | | | 年　　月　　日 | | | 調査者 | |  | | | | |
| 建物名 | | |  | | | 発注者 | |  | | | | |
| 部位 | 設計図書・目視調査 | | | | | | 石綿含有の分析調査 | | | | 石綿の使用状況 | |
| 建材名等 | 状況 | | 調査の方法 | 石綿含有 | | 石綿含有 | | 石綿種類  （含有率） | 備考 | 建材の種類  （レベル） | 使用面積 |
| 例  **天井** | **鉄骨梁** | **劣化** | | □設計図書  （　　　　　　）  ■目視  （　　　　　　） | □有  □無  ■不明  □みなし | | ■有  □無 | | **ｸﾘｿﾀｲﾙ**  （**10**％） |  | **吹付け石綿**  （レベル**１**） | **20**　㎡ |
|  |  |  | | □設計図書  （　　　　　　）  □目視  （　　　　　　） | □有  □無  □不明  □みなし | | □有  □無 | | （　　％） |  | （レベル　） | ㎡ |
|  |  |  | | □設計図書  （　　　　　　）  □目視  （　　　　　　） | □有  □無  □不明  □みなし | | □有  □無 | | （　　％） |  | （レベル　） | ㎡ |
|  |  |  | | □設計図書  （　　　　　　）  □目視  （　　　　　　） | □有  □無  □不明  □みなし | | □有  □無 | | （　　％） |  | （レベル　） | ㎡ |
|  |  |  | | □設計図書  （　　　　　　）  □目視  （　　　　　　） | □有  □無  □不明  □みなし | | □有  □無 | | （　　％） |  | （レベル　） | ㎡ |
|  |  |  | | □設計図書  □目視 | □有  □無  □不明  □みなし | | □有  □無 | | （　　％） |  | （レベル　） | ㎡ |
|  |  |  | | □設計図書  （　　　　　　）  □目視  （　　　　　　） | □有  □無  □不明  □みなし | | □有  □無 | | （　　％） |  | （レベル　） | ㎡ |
|  |  |  | | □設計図書  （　　　　　　）  □目視  （　　　　　　） | □有  □無  □不明  □みなし | | □有  □無 | | （　　％） |  | （レベル　） | ㎡ |
|  |  |  | | □設計図書  （　　　　　　）  □目視  （　　　　　　） | □有  □無  □不明  □みなし | | □有  □無 | | （　　％） |  | （レベル　） | ㎡ |
|  |  |  | | □設計図書  （　　　　　　）  □目視  （　　　　　　） | □有  □無  □不明  □みなし | | □有  □無 | | （　　％） |  | （レベル　） | ㎡ |
|  |  |  | | □設計図書  （　　　　　　）  □目視  （　　　　　　） | □有  □無  □不明  □みなし | | □有  □無 | | （　　％） |  | （レベル　） | ㎡ |

備考　１　設計図書の該当箇所、目視調査の内容、含有の状況の分析実施の際は採取箇所の図面及び分析結果など、石綿の

使用・含有及び使用面積算出の根拠となる資料を添付すること。

２　設計図書等の根拠資料の種類を括弧内に記載すること。

a　石綿含有建材データベース（国土交通省・経済産業省）、b　メーカーの証明書・ホームページ、

ｃ　JATI協会無石綿情報、d　その他（具体的に根拠資料を記載）、e　設計図書等無

３　目視による調査についてはその内容を括弧内に記載すること。

A　外観、B　商品名の印字、C　JIS番号　Dその他（具体的に内容を記載）